

## 中期目標骨子案

<b>第 1 期</b>
<b>【方針】</b>  将来にわたって時代の要請と地域の期待に真に応えることのできる、より魅力と実力のある大学としてさらに成長していく

<b>【柱立て】</b>	
<b>I 教育（社会に貢献できる有為な人材の養成）</b>	
①	社会人基礎力、構想力、造形力を備えた人材を養成
②	より実践的な専門知識と技術の修得を目指し、地域、社会、企業と連携したカリキュラムを編成
③	教育効果の高い授業形態、指導方法の導入
④	教員の適切な配置と教育力の向上
⑤	学生に対する生活、就職・進学などの支援体制の強化
⑥	教育研究組織の不断の見直し
<b>II 研究（より質の高いデザイン研究の推進）</b>	
①	時代や社会の要請に応える実用的かつ実践的なデザインの研究を推進
②	研究成果を体系的に蓄積し、学内外で有効的に活用
③	市民、産業界、高等教育機関、行政機関との連携を強化し、弾力的な研究実施体制と全学的な研究支援体制を整備
<b>III 地域貢献（さらなる地域貢献活動の推進）</b>	
①	「地域協創センター（新設）」を拠点に、地域の課題を解決し、新たな地域価値を創造
②	大学が有する資源を活用し、市民生活の文化向上や生涯学習を推進
③	保育園から高等学校までの教育機関との連携による、子どもたちのデザインマインドの育成
④	国際姉妹都市の大学と新たな交流・連携を推進
<b>IV 業務運営（社会情勢の変化に対応できる運営体制の確立）</b>	
①	迅速かつ的確な意志決定が可能な組織づくりと、自律的、弾力的、効率的な運営体制を構築
②	人事の適正化を図るため、職員評価制度を導入
③	入学定員の確保による安定した自己収入の確保と経費の節減
④	外部評価による教育研究と業務運営の改善
⑤	運営状況の積極的な情報公開

<b>第 2 期（案）</b>
<b>【方針】</b>  将来にわたって時代の要請と地域の期待に真に応えることのできる、より魅力と実力のある大学としてさらに成長していく

<b>【柱立て】</b>	想定している主な取組み	
<b>I 教育（社会に貢献できる有為な人材の養成）</b>		
①	「問題発見・解決力」と「造形表現力」を体系的に修得するカリキュラムの編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新カリキュラムの編成（低学年からデザイン思考等の手法を用いた問題発見・解決力を身に付けるための科目の設置等）</li> <li>・デジタル系科目の強化</li> </ul>
②	地域に密着した実践教育の実施	地域社会と連携した演習、実習を主とする授業の実施
③	高い専門性及びコーディネート力を有する教員の配置と教育の特色に適した授業形態による教育力の向上	
④	学部学科組織の変更を含む教育研究組織の不断の見直し	発展するデジタル社会に対応する人材の育成
⑤	本学学生の特性に合わせた修学、生活、就職・進学支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学に関する履修指導や修学特別支援の実施</li> <li>・企業紹介やインターンシップ斡旋等の実施</li> </ul>
⑥	国際的な視野を持つ人材の育成	協定締結校との交流事業の実施（交換留学、連携授業の実施等）
<b>II 研究（より質の高いデザイン研究の推進）</b>		
①	時代や社会の要請に応える実用的かつ実践的なデザインの研究を推進	実践的かつ質の高い研究推進（特別研究費の配分、顕彰制度の実施）
②	研究成果を体系的に蓄積し、学生・教員の研究成果を広く公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業・修了研究展・市民オープンキャンパス等による成果の公表</li> <li>・他の学術機関と連携したWebシステムを活用した研究業績の管理と公開</li> </ul>
③	地域、産業界、高等教育機関、行政機関と連携した研究の実施	地域協創センターや市内高等教育機関で組織するNaDeCを通し、様々な団体との研究を実施
<b>III 地域貢献（さらなる地域貢献活動の推進）</b>		
①	自治体、コミュニティ、NPO等と連携し、地域問題の発見・解決、地域価値の創造による地域振興	ヤングアート長岡など自治体・地域と連携した事業の実施
②	産学官金との連携による産業振興	NaDeC構想の推進、企業等のデザイン開発・商品開発・ブランディング開発支援、社会人対象のデザインスクール等の実施
③	子どもから大人まで生涯にわたる学習機会の提供	こどもものづくり大学校、市民工房等の実施
④	長岡への定着、就職の推進	長岡を知り体験する取組みの実施、市内企業でのインターンシップ実施、企業とのマッチング
⑤	市内高校出身者の積極的な受入と市内高校との密接な連携	市内優先枠の拡大、市内高校向けのオープンキャンパス・カレッジインターンシップ・デッサン教室等の実施
<b>IV 業務運営（社会情勢の変化に対応できる運営体制の確立）</b>		
①	自律的、弾力的、効率的な業務運営	学識有識者の専門的知見の活用、監査機能の強化
②	人事評価制度に基づく適正な人事の実施	人事評価制度の適切な運用、適切な人員配置による教職員の負担軽減
③	積極的な外部資金獲得と経費の節減	外部競争的資金、受託研究資金、寄附金、収益事業などの外部資金獲得
④	外部評価による教育研究と業務運営の改善、積極的な情報公開	評価委員会等の評価に基づく業務改善、各種メディア活用による情報公開
⑤	様々なリスクを想定した危機管理の実施	大規模災害への備え、事故・犯罪の未然防止、情報管理、安全衛生